

オーストラリア金融政策(2018年2月)

～CPI上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み～

2018年2月6日

お伝えしたいポイント

- RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- CPI(消費者物価指数)上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み
- 足元で金融政策は材料になりにくい。長期的に豪ドルは堅調に推移すると見込む

<RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

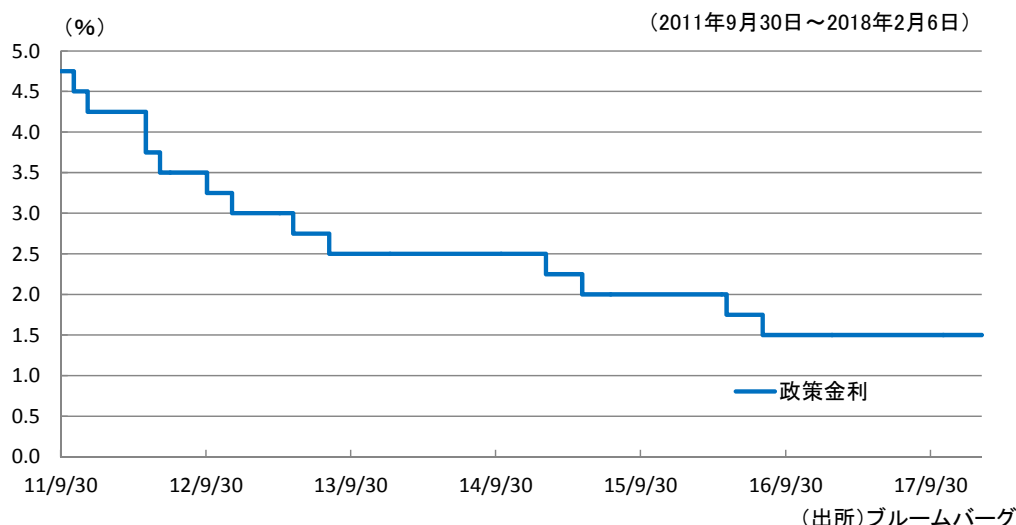
2018年2月6日(現地、以下同様)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を発表し、1.5%に据え置きました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

声明文では、オーストラリア経済が今後回復していくとの見解が維持されました。

インフレについては、人件費の伸びが抑えられていることや、小売業における競争の激化を反映し、しばらくは低い水準にとどまる可能性が高いという見解が示されました。ただし、景気が拡大するに連れて、インフレの緩やかな回復が期待されるとの見方は維持されています。

金融政策については、足元の低金利政策がオーストラリアの経済を下支えしていると前置きした上で、政策金利の据え置きが適当との見方をRBAは示しました。加えて今回の声明文では、失業率の低下とインフレ目標の達成に向けてさらなる進展が期待されるものの、この進展は緩やかなものになる可能性が高いとの文言が追加され、当面の政策金利の据え置きが示唆されました。

《政策金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

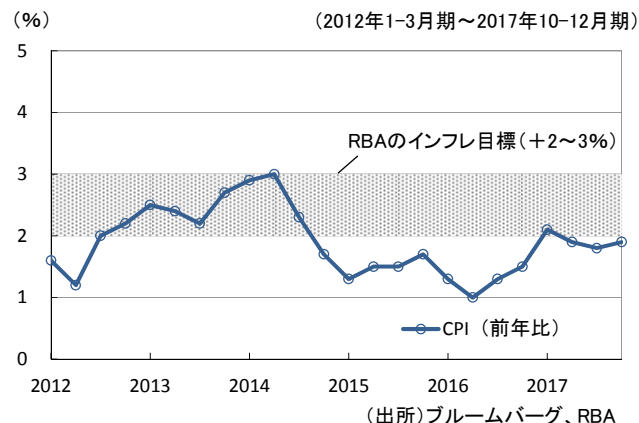
<CPI 上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み>

1月31日に2017年10-12月期のCPI(消費者物価指数)が発表されました。CPIは前年比1.9%の上昇となり、RBAのインフレ目標水準である+2~3%の下限を下回りましたが、7-9月期の+1.8%からは緩やかながらも加速しました。

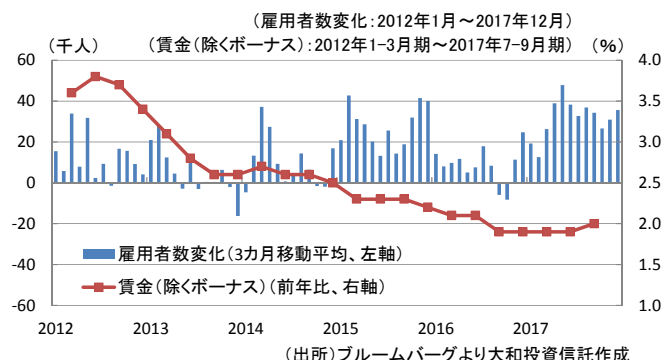
今回、燃料価格の上昇やタバコ税の引き上げに伴うタバコ価格の上昇、果物価格の高騰などが、CPI上昇率を押し上げました。しかし、これらの影響はあくまで一時的なものだと考えられます。雇用者数は増加を続けており、労働市場は堅調ながらも、依然として賃金の強い伸びとそれに伴う物価上昇圧力の高まりは見られません。このような環境の中では、RBAは政策金利の据え置きを当面続けるとみられます。

今後については、堅調な雇用の伸びが続けば、賃金上昇とそれに伴う物価上昇への期待が高まり、利上げが徐々に意識されてくるものとみています。

《CPIの推移》



《雇用者数の変化と賃金の推移》

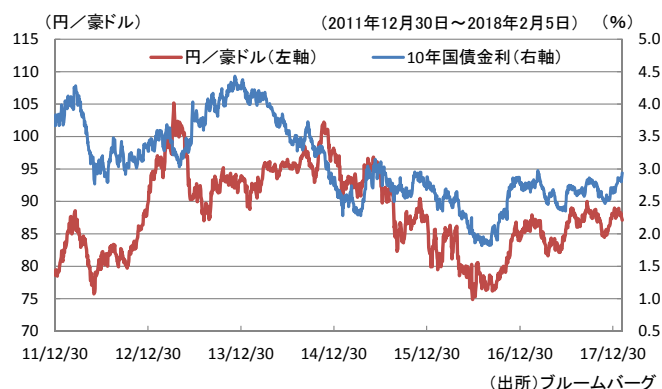


<足元で金融政策は材料になりにくい。長期的に豪ドルは堅調に推移すると見込む>

為替相場については、RBAが政策金利の据え置きを続ける中、金融政策が相場の方向性を決定づける材料にはなりにくいと考えています。一方で、足元では原油や鉄鉱石といった資源の価格が堅調に推移しています。このことが、資源国通貨である豪ドルを下支えするものと考えています。

長期的には、労働市場の改善を通してインフレ圧力が強まれば、利上げ観測の高まりを通じて豪ドルは堅調に推移すると見込んでいます。

《為替と国債金利の推移》



以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策(2017年12月)～政策金利は据え置き。RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善を待つ～
(2017/12/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171206_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年11月)～政策金利は据え置き。インフレ率の低迷から当面の政策金利は据え置きを見込む～
(2017/11/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171107_1.html
- ・オーストラリア訪問記～鉱石大国の今をみた～(2017/11/2)
- ・オーストラリア金融政策(2017年10月)～政策金利の据え置きを継続～(2017/10/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171003_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年9月)～政策金利は据え置き、賃金の伸びはいまだ低調も今後に期待～(2017/9/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_2.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年8月)～政策金利は据え置き～目先の為替市場のテーマは金融政策よりも資源価格～
(2017/8/1)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170801_1.html
- ・最近の豪ドルはなぜ上昇しているのか？(2017/7/21)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170721_2.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年7月)～政策金利は据え置き～移民による人口増加を背景に長期的な経済成長を見込む～
(2017/7/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170706_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年6月)～政策金利は据え置き～インフラ投資をエンジンに成長持続へ～(2017/6/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_2.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年5月)～政策金利は据え置き。将来の利上げ時期が早まる可能性。～(2017/5/2)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170502_1.html
- ・豪州は政策金利の据え置きを決定～利上げを急がない姿勢を示す(2017/4/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170405_2.html
- ・【ファンドマネージャーの運用ノート】資源価格反発と保護主義の台頭から、オーストラリアの魅力が高まる環境へ(2017/2/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170220_1.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>